

令和 5 年 10 月 27 日
日本原燃株式会社

原子燃料サイクル事業の現在の状況について

1. 新規規制基準への対応状況

<高レベル放射性廃棄物管理事業>

- 新規規制基準に係る設計及び工事の計画に係る認可(設工認)を、一括で申請。
再処理事業の第 2 回申請とあわせて、令和 4 年 12 月 26 日に提出し、原子力規制委員会において内容を審査中。
- 「再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」等の改正(原子力規制委員会 令和 3 年 4 月 21 日付け)に伴い、「震源を特定せず策定する地震動」に「標準応答スペクトル」を取り入れたことによる事業変更許可申請(令和 4 年 1 月 12 日付け)の補正書を令和 5 年 6 月 29 日、令和 5 年 8 月 2 日に提出。令和 5 年 9 月 20 日、原子力規制委員会において、事業変更許可申請書に関する審査結果案が決定された。経済産業大臣への意見聴取を経て、許可となる見通し。

<再処理事業>

- 新規規制基準に係る設工認を、2 分割で申請。
第 1 回申請(令和 2 年 12 月 24 日付け)は、令和 4 年 12 月 21 日に認可済み。
第 2 回申請は、令和 4 年 12 月 26 日に提出し、原子力規制委員会において内容を審査中。
- 「再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」等の改正(原子力規制委員会 令和 3 年 4 月 21 日付け)に伴い、「震源を特定せず策定する地震動」に「標準応答スペクトル」を取り入れたことによる事業変更許可申請(令和 4 年 1 月 12 日付け)の補正書を令和 5 年 6 月 29 日、令和 5 年 8 月 2 日に提出。令和 5 年 9 月 20 日、原子力規制委員会において、事業変更許可申請書に関する審査結果案が決定された。経済産業大臣および原子力委員会への意見聴取を経て、許可となる見通し。

<MOX 燃料加工事業>

- 新規規制基準に係る設工認を、4 分割で申請予定。
第 1 回申請(令和 2 年 12 月 24 日付け)は、令和 4 年 9 月 14 日に認可済み。
第 2 回申請は、令和 5 年 2 月 28 日に提出し、原子力規制委員会において内容を審査中。
- 「再処理施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」等の改正(原子力規制委員会 令和 3 年 4 月 21 日付け)に伴い、「震源を特定せず策定する地震動」に「標準応答スペクトル」を取り入れたことによる事業変更許可申請(令和 4 年 1 月 12 日付け)の補正書を令和 5 年 6 月 29 日、令和 5 年 8 月 2 日に提出。令和 5 年 9 月 20 日、原子力規制委員会において、事業変更許可申請書に関する審査結果案が決定された。経済産業大臣への意見聴取を経て、許可となる見通し。

2. ウラン濃縮事業

(1) 運転状況

RE-2A 初期導入既設分(75tSWU/年)生産運転中

3. 低レベル放射性廃棄物埋設事業

(1) 低レベル放射性廃棄物受入れ・埋設実績

受入れ時期 等		受入れ本数	埋設本数 ^{※1}
令和5年4月～ 令和5年9月末までの実績	1号埋設設備	672本	584本
	2号埋設設備	2,384本	2,160本
合計		3,056本	2,744本

※1 受入れ時期等により工程上、前年度受入れ分を当年度に埋設する場合や当年度受入れ分を次年度に埋設する場合がある。[埋設本数内訳:前年度受入れ分 1,864本、当年度受入れ分 880本]

(2) 令和5年度第1回および第2回低レベル放射性廃棄物の輸送終了

下表のとおり、低レベル放射性廃棄物の輸送が終了した。

受入れ日	搬出側施設名	数 量
第1回 令和5年9月15日～18日	・関西電力(株) 高浜発電所	400本(1号埋設) 1,120本(2号埋設)
	・北陸電力(株) 志賀原子力発電所	272本(1号埋設) 272本(2号埋設)
第2回 令和5年9月28日～29日	・中国電力(株) 島根原子力発電所	992本(2号埋設)
合計	3,056本	1号埋設対象廃棄物 672本 2号埋設対象廃棄物 2,384本

4. 高レベル放射性廃棄物管理事業

(1) 返還ガラス固化体受入れ・管理実績

受入れ時期	受入本数	管理本数
令和5年4月～令和5年9月末までの実績	0本	0本

5. 再処理事業

(1) 工事の進捗状況(令和5年9月末現在)

再処理施設本体工事進捗率 約99%

(2) アクティブ試験の進捗率(令和5年9月末現在)

総合進捗率 約96%

(3) 使用済燃料受入れ量、再処理量

受入れ時期 等		受入れ量		再処理量	
令和5年4月～ 令和5年9月末までの実績	PWR	0体	0トンU	0体	0トンU
	BWR	0体	0トンU	0体	0トンU
合計		0体	0トンU	0体	0トンU

6. MOX燃料加工事業

(1) 工事の進捗状況(令和5年9月末現在)

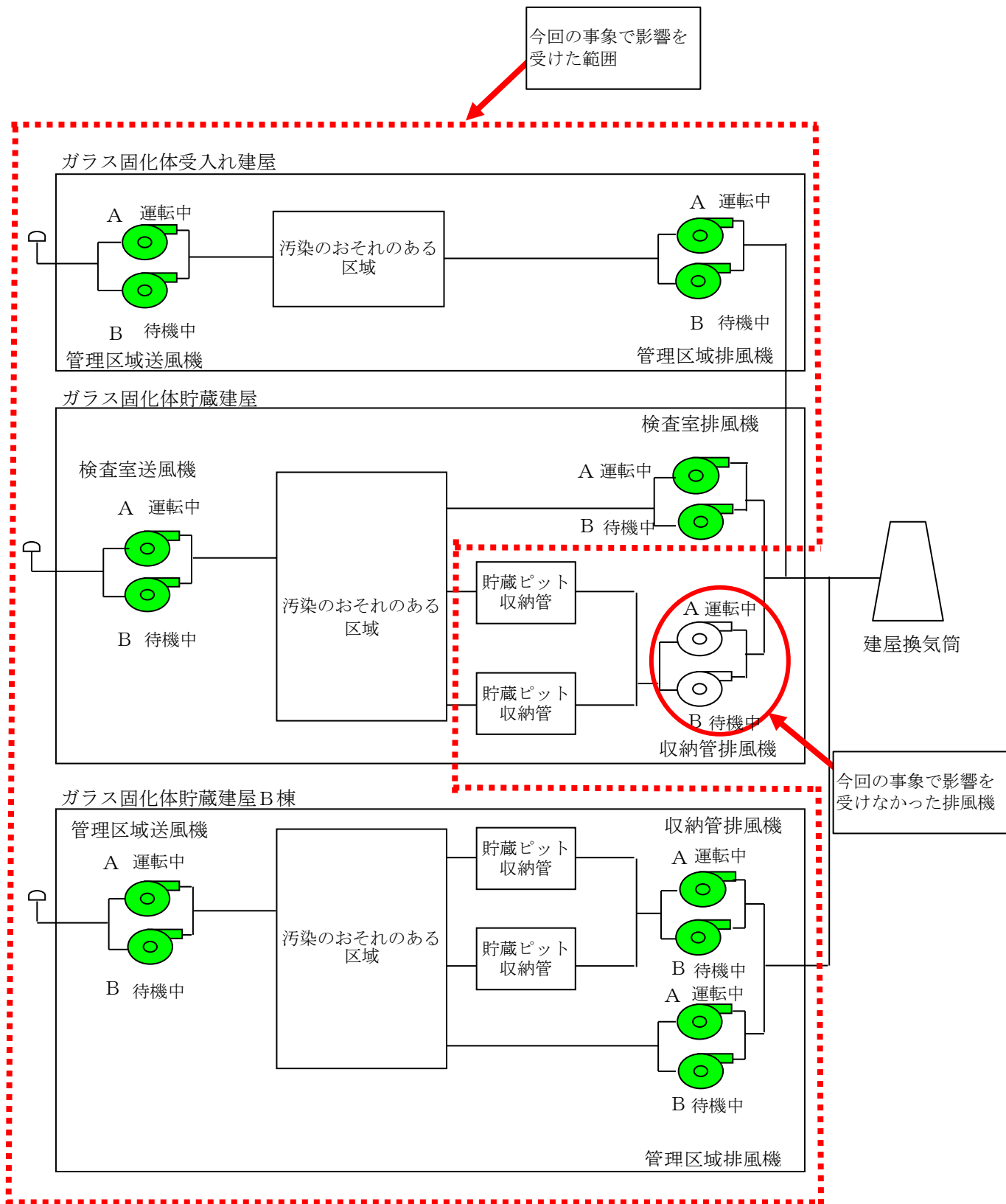
工事進捗率 約13.3%


7. トラブル等一覧

件名	高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターにおける送排風機の一時的停止について
日時	令和5年10月4日(水) 12時04分
場所	高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター(ガラス固化体受入れ建屋、ガラス固化体貯蔵建屋、ガラス固化体貯蔵建屋B棟)
事象概要	<p>高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター(ガラス固化体受入れ建屋、ガラス固化体貯蔵建屋、ガラス固化体貯蔵建屋B棟)において、ガラス固化体貯蔵建屋の収納管排風機を除き、2系統で構成される全ての送排風機が両系統とも一時的停止した。その後、13時25分までに、停止していた全ての送排風機を復旧した(別紙1参照)。</p> <p>送排風機一時的停止中においても、ガラス固化体の収納管内の負圧は維持されていたことを確認している。また、ガラス固化体は自然通風により冷却されていることから、送排風機の一時的停止による冷却機能への影響はない。</p> <p>本事象による放射性物質の放出及び汚染はなく、環境への影響はない。</p>
原因	制御室にある監視制御盤の更新工事中の作業に問題があったと認識しており、今後、詳細に調査を進めていく。
対応	原因調査結果を踏まえて、今後の対応を検討する。

以上

「詳細については、当社ホームページから確認することができます。(<https://www.infl.co.jp/>)」



 今回の事象で影響を受けた送排風機

建屋換気設備の概略図